

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス サン・クローバー			
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 20日		～	令和7年 12月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	6名
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 20日		～	令和7年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日				

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ 職員の連携良い	職員間で日々の情報共有や会議を行い支援の統一を図っている 子どもの様子や課題について全体で考える体制が整っている	ホワイトボードで一日の流れを共有し、変更等などは随時連絡を行っている。 職員でミーティングを行い利用者の療育計画について意見交換を行っている。
2	・ 保護者との連携が取れている	連絡帳や送迎時の報告を通して保護者と密に情報共有を行っている 保護者からの相談にも丁寧なたいおうし家庭との連携を大切にしている	送迎の時間調整がある場合は、前日や当日については開所時すぐ連絡を行っている。 子ども達のケアの事で困っている時など、看護師を中心に話
3	・ 安心できる環境	利用者さんが安心して過ごせるように安全面や環境整備を徹底している 事故防止の研修を実施している	段差がある箇所はクッションを置いたり、ベッドの位置を変えたり利用者様が快適に過ごせる様にしている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 支援プログラムの差別化が弱い	似たような活動工作・遊び中心になりがち	半年事で毎月の活動日程を決め、屋外活動の日については事前に保護者様へ周知する。 寝たきりの利用者もいるため触れて・聞いて皆が楽しめる活動も取り入れたい。
2	・ 人材について	看護師や理学療法士・作業療法士など専門職が不足しやすい	職員の知り合いや、求人広告などで募集を行う。
3	・ 重心デイは利用できる子どもの数が少ない	空きが出ると収益に直撃 職員のモチベーションにもつながる	相談事業所・保護者様へ空きがある事を伝え周りにデイを利用 考えている方達へ周知をお願いする。 チラシ・SNS等で事業所のアピールを行う